

わんぱくスキー教室開催



教室の様子。初めて高い所から降りる時は緊張しました。他校の児童とも仲良く交流できました。

1月7日、愛媛県久万高原町・久万スキーランドにて、黒潮町内の小学5・6年生を対象に「わんぱくスキー教室」が開催され、30人の児童が参加しました。

冬の太陽がスキー場を銀色に輝かせ、当日は絶好のスキー日和。高知県スキー連盟の方にご指導いただき、初心者にはスキーの基礎を、経験者はより高度な技術を身につけることができました。

最初は転んでばかりだった児童も最後には一人で自由に滑れるように。参加した児童からは「来年も絶対行きたい!」「前よりも上手に滑れるようになった」との感想が聞かれました。

小学生が16メートルの長巻寿司作りに挑戦!〈農業委員会〉

黒潮町農業委員会(井上道明会長)では、女性農業委員が中心となって、3年の任期のうちに町内全小学校9校を回り、子どもたちに地産地消の料理作りを教えています。この活動は、10年ほど前に、廃校になる小学校の子どもたちの思い出づくりとして始まりました。平成23年度は、上川口・入野・伊田小学校の3校を回ります。

12月16日には上川口小学校で開催され、5年生8人・6年生7人が、元農業委員やJA高知はた女性部大方支部の部員、地域の女性に教わりながら、千切りなど、熱



心に包丁を使い、長巻寿司とサラダ、みそ汁、デザートにサツマイモの茶巾絞りを作りました。また、全校児童40人が16メートルの長巻寿司作りに挑戦し、見事完成させました。できあがると子どもたちからは大きな歓声があがりました。「地元で作られた物を選び、安心できる物を食べてほしい」と女性農業委員の金子孝子さん。全員で昼食をとった後は、お礼に全校児童による歌のプレゼントがありました。



今後は、1月に入野小学校、2月に伊田小学校で実施。来年度は、佐賀・伊与喜・拳ノ川小学校での開催を予定しています。

若山^{ニセ}楮の蒸し剥ぎイベントと土佐^{トサ}さが三^ミ里^リマーケット

黒潮町佐賀北部協議会では、平成21年から、和紙の原料となる若山楮の復活に取り組んでいます。春先から10月頃まで除草や芽かき作業を行い大切に育ててきた楮を、12月上旬に刈り取り、同月18日、土佐佐賀温泉こぶしのさと敷地内で楮の蒸し剥ぎイベントを実施。体験した佐賀地域の小学生は、「最初は難しかったけど、楽しかった」「つるつと剥けたときは快感でした」と話していました。

また、会場ではマーケットも開かれ、地元のおいしい食べ物や工芸品などを販売していました。



地元の人に教えてもらいながら、1本1本楮の皮を剥く大方高校生たち。